

| | | | | | | | | |
|--|--|------|------|--|-----------|----------|-----|----|
| 授業科目 | 簿記入門 | | | | 単位 | 2 | | |
| 履 修 | 選択 | 関連資格 | | | ナンバリング | EN21403J | | |
| 開講年次 | 2 | 開講時期 | 後期 | 該当DP | DP4-3 | | | |
| 担当教員 | 梅田 勝利 | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本授業は、実務家教員の授業として、学生が社会的・職業的自立を図れるように、自身の企業で簿記作業を行った体験に基づき、ビジネスパーソンにとって必要不可欠である、複式簿記の知識の習得を目的とする。本授業では、複式簿記の構造、財務諸表の内容と作成方法、期中取引の処理について理解する。</p> <p>前半では、複式簿記の構造、財務諸表の内容、勘定科目の内容について説明する。これによって、複式簿記の構造に関する総論的な基本的知識を得ることができる。</p> <p>後半では、期中取引の処理について説明する。これによって、財務諸表の作成準備ができるとともに、複式簿記の構造について理解することができる。</p> <p>また、日商簿記検定初級の出題範囲を網羅していることから、それについて解答することができる。</p> | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べることができる。 3. 財務諸表について、正確に作成することができる。 4. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行うことができる。 5. 簿記一巡の手続について、説明することができる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 50 | 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-2) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-1) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | 50 | 50 | | | | | 100 | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べる ことができる。 3. 財務諸表について、正確に作成することができる。 4. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に 行うことができる。 5. 簿記一巡の手続について、説明することができる。 | | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べる ことができる。 3. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行う ことができる。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |

| 進行 | テーマ・講義内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | 予習・復習時間(分) |
|----|---------------------|------------|---|------------|
| 1 | ガイダンス・シラバスの説明 | 講義 | シラバスを熟読する。 | 60・60 |
| 2 | 簿記の基礎概念 | 講義 | 予習:テキスト p.3 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.8 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 3 | 取引と勘定の意義 | 講義 小テスト | 予習:テキスト p.10 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.16 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 4 | 資産・負債・資本(純資産)と貸借対照表 | 講義 | 予習:テキスト p.18 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.24 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 5 | 収益・費用と損益計算書 | 講義 | 予習:テキスト p.26 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.31 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 6 | 仕訳と転記 | 講義 小テスト | 予習:テキスト p.33 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.39 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 7 | 仕訳帳と総勘定元帳 | 講義 | 予習:テキスト p.42 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.48 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 8 | 現金・預金 | 講義 | 予習:テキスト p.51 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.59 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 9 | 商品売買 | 講義 小テスト | 予習:テキスト p.61 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.65 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 10 | 売掛金と買掛金 | 講義 | 予習:テキスト p.79 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.87 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 11 | その他の債権と債務 | 講義 | 予習:テキスト p.97 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.104 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 12 | 有形固定資産 | 講義 小テスト | 予習:テキスト p.107 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.111 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 13 | 資本金と利益剰余金 | 講義 | 予習:テキスト p.115 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.121 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |

| | | | | |
|-----------------------|---|------------|---|-------|
| 14 | 税金 | 講義 小テスト | 予習:テキスト p.122 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.127 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。 | 60・60 |
| 15 | | | | |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 複式簿記は、聴講だけでは習得できず、実際に手を動かして、なぜその会計処理をするのかについて、その理由を理解することによって、習得することができる。 | | | |
| テキスト | 篠原淳・古市承治・梅田勝利編「現代の簿記論」税務経理協会、2021年。 | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 必要に応じて随時紹介する。 | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | 次の2点の理解に努め、仕訳をできるようにすること。 1. 勘定科目とその内容 2. 取引要素の結合関係の内容 | | | |

| | |
|---------------|--|
| 達成度評価に関するコメント | 小テストをすべて受験・解答するとともに、授業中に積極的に参加し、最終到達度として、試験において、複式簿記の構造と期中取引の処理について、解答できるようになれば 100 点。 |
|---------------|--|